

第18回 わたし達の掛軸展

NO.	名前	作品名	形式名	作者コメント	尺寸		
					丈	巾	巾
1	青木 みち子	富士	三段表装・垂風帯	額装されていた水墨画ですが、掛軸に仕立て直してみました。今年のテーマ「風帯」に初挑戦。わからないことばかりでしたがなんとか形になりました。	370	×	170
2	横山 信子	秋草	三段表装・垂風帯	絹本に描かれた絵に金砂子を振ったものが本紙です。昭和初期の秋草を見る女性たちの絵だと思います。基本的な三段表装にしました。格調の高い絵だと思い垂風帯をつけました。	400	×	210
3	佐々木 正子	柳にかわせみ	三段表装・垂風帯	本紙は非常に傷んでいます。五ヶ所修復。季節的にわかりづらい絵ですが、かわせみを目立たせる為に、柳と同じように白の布で囲んでみました。私にとってめずらしい色合わせです。	640	×	175
4	中村 美南子	書「一心」	三段表装・垂風帯	今まであつめた裂地を使いました。	450	×	170
5	兵藤 和正	書「俵万智の歌」	三段表装・筋割風帯	完熟糊で作成しました。筋入りの割貫(くりぬき)で仕上げました。本紙は、会員の中村さんの娘さん(書家の伊藤忍さん)より頂戴したものです。	360	×	155
6	戸松 豊	オマージュKORIN紅白梅図構図(双福)	創作表装	私淑する尾形光琳の国宝「紅白梅図屏風」(二曲一双)から想を得て手描き表装にしつらえました。	400	×	90
7	戸松 豊	オマージュKORIN紅白梅図構図(双福)	創作表装	私淑する尾形光琳の国宝「紅白梅図屏風」(二曲一双)から想を得て手描き表装にしつらえました。	400	×	90
8	袴田 一雄	東海道五十三次箱根	三段表装・垂風帯	大分前に手染友禅紙の廣重画を手にしましたが、本紙としては厚手のため躊躇していました。年を重ねたので意を決して仕立てました。友禅紙の地染めのせいか色変わりしたのか富士山が目立たないので、漂白剤で洗ってみました。が今一でした。	300	×	175
9	横山 信子	般若心経	仏表装・中風帯	本紙は金文字で印刷されたハンカチです。裏打ちはハンカチの色が濃くなるように茶色の美濃紙を使いました。「真の草」の仏表装なので、中廻しの赤い裂地で仏用の風帯を作りました。	400	×	187

NO.	名前	作品名	形式名	作者コメント	丈		巾
10	高梨 容子	鶴の舞い	三段表装・垂風帯	骨董市で購入した本紙を使い、お正月に掛けられるよう作ってみました。丈が長かったので一人では出来ず、皆様の手をお借りして完成しました。ご協力ありがとうございました。	545	×	205
11	森 長次郎	書「無」	三段表装・垂風帯	頂いた書「無」を長い時間かけて作ったもので今回のテーマ風帯の有る物と云うことで風帯(垂風帯)を付けて作業が終わったのは三月六日でした。	550	×	150
12	小出 晶子	訶梨帝母(かりていも・鬼子母神)	三段表装・垂風帯	三井寺の訶梨帝母(かりていも)を墨と顔彩で描きました。初めて風帯にチャレンジしましたが、本紙にシワが入ってしまったこと、天地の切り継ぎに折れが出たこと、反省材料には事欠きません。	365	×	145
13	山田 真三子	大原女	三段表装・筋風帯	本紙は男物の羽裏です。刺繍なので、裏の糸を切るのが大変な作業でした。	510	×	134
14	森 長次郎	書(不明)	三段表装・張風帯	知人の白鳥さんが作業途中で亡くなられたので、引き継いで仕上げた物で風帯は張り風帯です。展覧できて白鳥さんも私も一安心落ち着きました。	500	×	100
15	影山 加代子	雛飾り	三段表装 垂風帯/ 筋風帯 三幅一対	時代を感じる雛の顔立ちと、衣裳に惚れて古い掛軸を買い求め仕立て直した作品です。汚れが落ちないところに金彩を施し、中廻しに正倉院裂有栖川鹿文様を使用しました。両側に雛道具の一つである「犬笛」(いぬばこ)を、紅型で描いた本紙で、三幅一対(さんぷくいつい)にして作り上げました。	610	×	457
16	神谷 武彦	寿山萬丈高	三段表装・垂風帯	「寿山万丈高」(じゅざん/ばんじょう/たかし)長寿を祝う言葉です。茶席でもよく見かけ、「主客の健康と長寿を祝うという意」で、亭主のもてなす気持ちを表します。知人の依頼を請け負い作らせていただきました。	710	×	174
17	青木 みち子	小倉百人一首	三段表装・筋割風帯	きれいな和紙のカレンダーと思い、切り取って本紙としましたが、和紙ではなく洋紙でした。この本紙に和紙・裂地を合わせたのですが、伸縮具合も異なり平らなきれいな仕上がりとはいませんでした。	360	×	140
18	大村 淳三	沙羅の花	三段表装・垂風帯	森鷗外の詩を書家の西村素紅さんに書いて戴きました。久しぶりに風帯をつくりましたが、針や糸の扱いはどうも不得手です。	350	×	170

NO.	名前	作品名	形式名	作者コメント	丈		巾
19	佐藤 嘉道	翁(おきな)	丸表装・垂風帯	ものわすれ(秒氣)の妻との会話で、同じ事を数多くきかされ対応が大変で、本紙の準備に気が回らない頃、白石さんから頂き、大変ありがたくほっとしました。この羽裏、上質で糸切りに時間をかけましたが、裏打二回やりなおしましたが、満足しておりません。	390	×	230
20	大村 淳三	行雲流水	茶掛(揉紙仕立)張風帯	中国の書家沈強先生の書です。揉紙の顔料の剥落を気にするあまり、他へのチェック(一文字)が不充分となりました。他山の石としていただければ幸いです。	500	×	120
21	神谷 武彦	看却下	茶掛・垂風帯	「看却下」(かんきゃっか)脚下をよく見るという意です。また自分自身を顧みる言葉として胸に響きます。自分自身の原点に還り、表具を始めたころの未熟な自分を思い返しながら茶掛に仕立ててみました。	345	×	115
22	吉田 弘子	和歌一首	創作表装	かな書道の先生に頂いた作品を表装しました。風帯は難しかったです。	357	×	135
23	高梨 容子	だれかいるの	袋表装	古い掛軸を解体して作りました。古い掛軸は揉紙(もみがみ)を使い、刳貫(くりぬき)で本紙の廻りに筋が廻してありました。新しい軸は、揉紙を使うことは無理なので、揉紙風の布を使い刳貫で本紙の廻りに筋を廻しました。	320	×	160
24	佐藤 嘉道	伊藤左千夫歌碑(拓本)	丸表装	この拓本も白石さんから頂きました。碑文から季節感がつかめず裂えらびに迷いました。軸付けが終わった頃、本紙の部分の上裏で浮いているのを見つけました。原因は本紙の裏打ちの時、あまりにもすなおに出来てしまったので、注意して作業を進めようと思いましたが、これを忘れ本紙の紙質に配慮せず、普通に打ち付けたせいでした。	390	×	220
25	山田 真三子	中学生の書	丸表装	友人のお孫さんの書いた作品です。得体のしれない紙で上げ裏を打ったら大失敗。耳折りの線に沿って千切れてしまいました。素性のハッキリした紙を使わないとダメですね。やり直しました。	640	×	153
26	中村 美南子	幾羅起良(きらきら)	丸表装	ちょっとキラキラの一文字を入れてみました。	656	×	173
27	中村 美南子	書「その日僕らが見上げた空には」	袋表装	中学三年生の孫の書いた詩を娘が作品にしたものを、私 バアバアが表装しました。	655	×	175

NO.	名前	作品名	形式名	作者コメント	丈		巾
28	小出 晶子	十一面観音	丸表装	北近江道岸寺の国宝十一面観音を絹地に描きました。以前に木綿地で軸装していたものを、表装用布地で仕立て直しました。馬子にも衣装？かと思っていますが。	325	×	160
29	兵藤 和正	書	創作表装	完熟糊で作成しました。割貫(くりぬき)で筋廻しをして仕上げるのは大変むずかしい作業でした。	325	×	115
30	袴田 一雄	夢二画 五月	創作表装	大正浪漫を代表する竹久夢二の着物姿が大好きで、縦縞の着物を解いて四作品仕立てた最終作です。中裏仮貼り中に不具合があり、解体やり直したため色落ち等残念な作品です。	350	×	170
31	佐々木 正子	棟方志功京都雪舞台の柵	創作表装	版画なので布で遊んでみました。中布は雪の降りしきる様子。外布はグラデーシヨンの白で積もった雪を表わしました。	390	×	145
32	吉田 弘子	深秋	丸表装	以前いただいた桃里さんの作品を表装させて頂きましたが、出来上がってみると本紙に空気が入り、再度はがして作り直しました。	350	×	150
33	影山 加代子	子供祝着(兜)	創作表装	夏の子ども祝い着を解いて兜を正面に据え、紋が抜けていたため、七福神の一種である。恵比須様の神紋としても有名な「三つ蔓柏(つるかしわ)」の紋を付けさせて頂き、屏風の感じになるように仕立てました。	430	×	170
34	小出 晶子	雲中供養菩薩	和綴じ本	平等院鳳凰堂の阿弥陀如来の背後に浮かぶ雲中供養菩薩五十二体を描きました。バラバラだと散逸してしまいそうで、和綴じ本二冊にまとめてみました。	0	×	0